

◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆日本学術会議ニュース・メール◆◇◆◆◇◆◆◇◆◆◇◆

No.948 | 2026年1月9日

■ ■ トップニュース □□

1. 【ご案内：参加登録受付中】

「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2025『将来の学術を担う若手研究者を中心とした研究力強化と頭脳循環を目指して』」

2. 【お知らせ】

特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について

3. 【生研支援センター】

「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」の公募開始のお知らせ

■ ■

1. 【ご案内：参加登録受付中】

「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2025『将来の学術を担う若手研究者を中心とした研究力強化と頭脳循環を目指して』」

□□

2026年2月11日（水・祝）および12日（木）に「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2025『将来の学術を担う若手研究者を中心とした研究力強化と頭脳循環を目指して』」をハイブリッド形式（日本学術会議講堂及びオンライン）で開催します。日本学術会議及び協力学術研究団体関係者の皆様を対象に、以下のとおりご案内いたします。お子さまの同伴を歓迎するとともに、日本学術会議内に託児所を設置いたします。ぜひご参加ください。

◆対面の参加登録はコチラ↓↓（要登録・参加無料（※））

<https://icsts2025.pco-prime.com/?lang=jp>

※現地までの交通費及び宿泊費は、自己負担でお願いいたします。

◆オンラインの参加登録はコチラ↓↓（要登録・参加無料）

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_L38yL5d4QlSlevGdjrAl2w

◆専用ホームページはコチラ↓↓（チラシ、会議コンセプトペーパー等掲載）

<https://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2025/ja/index.html>

【日時（日本時間）】2026年2月11日（水・祝）10:00-17:25

2月12日（木） 9:20-15:50

【主催】日本学術会議（国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する

国際会議 2025 分科会)

【後援】内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、外務省、文部科学省
経済産業省

【開催趣旨】

我が国の国際的に遜色のない研究力を發揮していくために、海外の第一線の大学・研究機関で活躍している研究者をロールモデルとして、こうした研究者がこれまでの活動から得た知見やそれに基づく提案を共有し議論を深めるとともに、世界規模で進行している国際頭脳循環の動向も十分に踏まえた上で、戦略的な研究人材の派遣や受け入れ等の対応について議論を行います。

【使用言語】英語（日英同時通訳あり）

【プログラム（予定）】

<1日目『若手研究者の研究力強化』>

オープニング

10:00-10:05 開会挨拶：光石 衛（日本学術会議会長）

10:05-10:10 来賓挨拶：小野田 紀美（内閣府特命担当大臣（科学技術政策））

10:10-10:15 趣旨説明：磯 博康（日本学術会議副会長、日本学術会議「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2025 分科会」委員長、国立国際医療センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター長／理事長特任補佐）

10:25-10:55 政府等の取組：坂下 鈴鹿（文部科学省研究振興局審議官）
小谷 元子（東北大学理事）

10:55-11:25 基調講演1：ウィルフレッド・ファン・デル・ウィール（トウウェンテ大学ナノエレクトロニクス学科教授、脳啓発ナノシステムBRAINセンター所長）

11:25-11:55 基調講演2：深見 理（スタンフォード大学生物学科教授／地球システム科学科教授、東京大学先端科学技術センター客員上席研究员、横浜国立大学総合学術高等研究院招聘教授）

12:05-13:15 休憩

パネルディスカッション1 「若手研究者の研究力強化」

13:30-13:40 モデレーターによる説明：北島 薫（京都大学大学院農学研究科教授）

13:40-14:05 プrezent1：濱田 文香（カリフォルニア大学デービス校教授）

14:05-14:30 プrezent2：アナ・ドレバー・アルメンバーグ（スウェーデン商科大学教授）

14:30-14:55 プrezent3：ロブ・ジェンキンス（ヨーク大学教授）

- 14:55-15:10 若手の視点：龍見 史恵（沖縄科学技術大学院大学任期付助教、ボストン大学生物学部博士研究員）
- 15:10-15:25 休憩
- 15:25-17:25 パネルディスカッション
モデレーター：北島 薫（京都大学大学院農学研究科教授）
パネリスト：濱田 文香（カリフォルニア大学デービス校教授）
ロブ・ジェンキンス（ヨーク大学教授）
龍見 史恵（沖縄科学技術大学院大学任期付助教、ボストン大学生物学部博士研究員）
大垣 昌夫（同志社大学経済学部特別客員教授）
- <2日目『国際頭脳循環の促進』>
- パネルディスカッション2 「国際頭脳循環の促進」
- 09:20-09:30 モデレーターによる説明：狩野 光伸（岡山大学副理事／副学長／学術研究院ヘルスシステム統合科学学域教授）
- 09:30-09:55 プレゼン4：ケシャブ・エム・ダニ（沖縄科学技術大学院大学フェムト秒分光法ユニット教授）
- 09:55-10:20 プレゼン5：五十嵐 啓（カルフォルニア大学アーバイン校大学総長特准教授、東北大学医学系研究科認知生理学分野国際卓越教授）
- 10:20-10:45 プレゼン6：リース・カッセン（マギル大学教授）
- 10:45-11:00 休憩
- 11:00-13:00 パネルディスカッション
モデレーター：狩野 光伸（岡山大学副理事／副学長／学術研究院ヘルスシステム統合科学学域教授）
パネリスト：ケシャブ・エム・ダニ（沖縄科学技術大学院大学フェムト秒分光法ユニット教授）
五十嵐 啓（カルフォルニア大学アーバイン校大学総長特准教授、東北大学医学系研究科認知生理学分野国際卓越教授）
リース・カッセン（マギル大学教授）
阪 智香（関西学院大学商学部教授）
- 13:00-14:00 休憩
- 14:00-15:30 総合セッション
クロージング
- 15:30-15:45 総括：磯 博康（日本学術会議副会長、日本学術会議「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2025 分科会」委員長、国立国際医療センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター長／理事長特任補佐）
- 15:45-15:50 閉会挨拶：日比谷 潤子（日本学術会議副会長、国際基督教大学名誉教授）

●本件問い合わせ先

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2025 事務局

(株式会社プライムインターナショナル)

TEL:03-6277-0117／E-mail : icsts2025(a)pco-prime.com ※(a)を@にしてお送りください。

営業時間：10:00-17:00（土・日・祝日・年末年始（12月27日～1月4日）は休業）



2. 【お知らせ】特設ウェブサイト　日本学術会議の法人化について



令和7年6月11日に日本学術会議法が成立し、日本学術会議は、令和8年10月1日に法人へ移行することとなりました。

こちらのページでは、法人化の準備状況等を掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/division-21.html>



3. 【生研支援センター】

「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」の公募開始のお知らせ



生研支援センターでは、「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」の公募を開始しました。

本事業は、スマート農業技術の開発及び供給を迅速かつ強力に推進するため、様々な関係者が実施するスマート農業技術に係る研究開発・改良の取組を支援するものです。

■公募期間：2025年12月26日（金曜日）～2026年2月13日（金曜日）正午まで

■公募説明動画：2026年1月上旬生研支援センターのHPにて掲載予定

▼公募要領等の詳細情報は、下記URLをご参照ください。（生研支援センターウェブサイト）

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2025-2.html>

【お問い合わせ先】

生物系特定産業技術研究支援センター（生研支援センター）

事業推進部 民間技術開発課（担当：鎌田、石橋）

E-mail : brain-smartagriweb(a)ml.affrc.go.jp ※(a)を@にしてお送りください。

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式X

https://x.com/scj_info

日本学術会議ニュース・メールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願ひいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34